

3月 25-31 日

詩編 22 編

19 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1 分) 有川 聖七 | 浮田 蒼

神の言葉の宝



兵士たちがイエスの外衣を巡ってくじを引いている。

1. イエスの死について予告されていたこと (10 分) 伊藤 勇一

イエスは神に見捨てられたように見える。(詩 22:1。塔 11 8/15 15 ページ 16 節)

イエスはあざけられる。(詩 22:7, 8。塔 11 8/15 14 ページ 13 節)

イエスの衣服のためにくじが引かれる。(詩 22:18。塔 11 8/15 15 ページ 14 節。表紙の絵を参照。)



考えてみよう 「詩編 22 編の預言が実現したのであれば、ミカ 4 章 4 節など、メシアについての他の預言も実現すると確信できないだろうか」。

2. 宝石を探し出す (10 分) 大谷 正

詩 22:22 私はあなたの名を兄弟たちに知らせ、会衆*の中であなたを賛美する。

どんな 2 つの方法で詩編作者に倣えるか。(塔 06 11/1 29 ページ 7 節) わたしたちの集いに対して、幾つかの具体的な方法で敬意を示せます。一つは、王国の歌を歌うときにその場にいることです。その歌詞の多くは祈りの形になっていますから、崇敬の気持ちをこめて歌うべきでしょう。使徒パウロは詩編 22 編を引用しつつ、イエスの言葉としてこう記しました。「わたしはあなたのみ名をわたしの兄弟たちに告げ知らせ、会衆の中で歌をもってあなたを賛美します」。(ヘブライ 2:12) ですから、集会の司会者が歌について述べる前に席に着き、歌詞の意味をよく考えながら歌うようにするのが良いでしょう。わたしたちの歌声が、次のように記した詩編作者の心情

に呼応したものとなりますように。「わたしは心をつくしてエホバをたたえる。廉直な者たちの親密な集いと集会において」。(詩編 111:1) そうです、エホバへの賛美を歌うためにも、わたしたちは集会に早めに着き、終わりまでそこにとどまりましょう。

([塔 03 9/1 20 ページ 1 節](#)) 昔と同様、今日も、個々の信者が自分の信仰を「会衆の中で」表明するための備えがあります。すべての人があずかれるものとして、**会衆の集会で聴衆への質問に応じて注解する機会**があります。**注解がもたらす益を決して過小評価してはなりません。**例えば、問題を克服したり防いだりする方法を注解すると、**聖書の原則に従おうという兄弟たちの決意が強められ**ます。引用されていない参照聖句を説明したり、個人で調査して得た考えを含めたりする注解は、**より良い研究の習慣を身につけるよう励ます**ものとなるかもしれません。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 先の**塔研究記事 2**で、**イエスが死の直前に 22:1 を引用した理由の②つ目**に「**詩編を暗記していた一世紀のユダヤ人が 22 編全体に注意を向けられるようにした**」とあった。**聖書から益を受ける点で一世紀のクリスチャンとつながっている喜び**と、**私たちも聖句を暗記するような努力の必要性**も少し感じた。

3. 聖書朗読 (4 分) 詩 22:1-19 (教励 第 2 課) 米山 英行

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 田中 弘子 愛 4-4 吉田 明美

(3 分) 家から家で。([愛込 レッスン 4 ポイント 4](#))

5. 再び話し合う 布川 志津 愛 4-3 柴田 まり子

(4 分) 日常生活で。招待状を受け取って関心を示した知人と話す ([愛込 レッスン 4 ポイント 3](#))

6. 話 田中 克彦

(5 分) [塔研 20.07 11-12 ページ 14-17 節](#) 主題: 聖書の預言を学ぶと信仰が強まる ([教励 第 20 課](#))

クリスチャンとして生活する

[95 番の歌](#)

7. 会衆の必要 (15 分) 滝 秀貞

8. 会衆の聖書研究 (30 分) 徹 7 章 14-18 節, 57-58 ページ囲み 有田 悟 朗読: 阿部 直生

閉会の言葉 (3 分) | [53 番の歌](#)と祈り 田中 慶一

^ ([詩 22:0-31](#)) 指揮者へ。「夜明けの雌鹿」*に合わせて。ダビデの歌。22 私の神、私の神、なぜ私を見捨てたのですか。なぜ救ってくださらないのですか。なぜ苦悩の叫びを聞いてくださら